



公益財団法人
ソーシャルサービス協会だより

2018年
3月23日
事務局発行
No.20

前年実績から大きく後退している！
月次決算を軌道に乗せよう！

4~2月の損益結果						(万円)
	実績	予算	前年	予算差	前年差	
1 旭川事業所	0	5	20	-5	-20	
2 せせらぎ	-71	28	-106	-99	35	4~12月
3 青森事業所	8	-17	3	25	5	4~10月
4 仙台事業所	50	31	-12	19	62	
5 塩釜事業所	-406	97	-94	-503	-312	
6 多摩支所	-179	28	-367	-207	188	
7 ITセンター	-259	238	525	-497	-784	
8 ワークセンター	115	-60	622	175	-507	4~9月
9 京都事業所	-956	13	190	-969	-1,146	
10 宮若事業所	51	17	2	34	49	
11 田川事業所	-63	-18	184	-45	-247	
12 福岡事業所	-84	1	-251	-85	167	4~10月
13 都城事業所	-25	-20	74	-5	-99	
14 本部	128	138	-311	-10	439	
計	-1,691	481	479	-2,172	-2,170	

未入力の事業所があり正確に把握することができません。金額で大きく影響するのはワークセンターですが、10~2月までの5か月間を上半期のペースで展開したとして+96万円と推し量るとしても、全体で1,500万円弱の赤字です。多摩支所に後期の助成金(10~2月)300万円を加えても1,200万円の赤字です。

2017年度は、京都事業所、ITセンター、塩釜事業所が大きな赤字となっていますが、とりわけて京都事業所の赤字が大きくなっています。介護事業での実施調査で特別減算1,000万円が大きく影響しています。塩釜事業所は収入を500万円減らしています。その分赤字になっています。

所長紹介 ワークセンター 原田 康正さん



私がワークセンターに入社したのは、2009年11月で、その時、京都市よりホームレス支援事業として「緊急一時宿泊施設」が開設され、その施設に入所している利用者の相談員の仕事に従事してほしいとの要請があり、当時、まったく相談員の仕事などしたことがないので断りましたが、人手がなく相談員の手伝いで結構ですと言われ、69歳でワークに入りました。今年で8年少しになります。この間、理事長を務められていた外尾理事長さんが高齢で退職され、所長をお受けすることになりました。ワークセンターは、4つの事業部があり、それぞれ独立採算制となっています。清掃事業部は別として、各事業部は京都市との「委託契約」となっており、年度毎に「委託契約」を確実にするため、事業「仕様書」による作業を完璧におこなうことを指針としています。今後は、委託業務に頼らず、民間の仕事確保に力を入れていきたいと考えています。

<事業所月報>より (3/23現在3事業所からの報告)

- ◆ **都城事業所**
 1. 業務遂行に関すること
インフルエンザに罹患した職員は、今月は、いなかった。利用者の罹患は、3名程度で、全体的に、減少傾向である。(登録)訪問介護員の退職願いを受理：1名(昨年の3月以来の退職者) 退職理由は、「70歳到達で区切りが良い」とのこと、説得するが「継続勤務意志なし」で、3月31日付で退職予定。新規の採用は、ほとんど絶望的である。
 2. 予算遂行に関すること
2月の利用者動向は、新規利用者受入：2名、施設入所者：1名 介護報酬請求は、先月と同じく78名であった。介護収入は、2,050千円で、1月の2,172千円と比較して、122千円減、12月の2,376千円と比較して326千円減であった。収入の減少傾向が継続しているが、2月は、1年間で、最も収入額は低くなる。理由としては、寒さの影響で、インフルエンザや感冒等での入院等が多いこと、そして2月は「3日」ほど稼働日が少ないこともある。収支は、単月で11千円の赤字で、2月末での当期利益は256千円の赤字となった。
 3. その他
「新会計ソフト」にやっと慣れてきました。便利になったことは、曜日や時刻に制限がなく、いつでも(日曜日や深夜等)入力ができるようになったこと。ただ、以前の会計ソフトと比較して、若干、反応が遅いようです。
- ◆ **ワークセンター**
 1. 業務遂行に関すること
 - ①民間部門では、処分業務が前月より1件増の3件となり、その分増収となった。
 - ②2月は28日と営業日も減少があり、経費面での多少の削減となっている。
 - ③委託事業は、予定通り。
 - ④1カ月休職者は2名でした、1名は手首の骨折(私生活上)のためであり、1名は奥さんの入院・看護のためでした。
 2. 予算遂行に関すること
 - ①大きな増収・増益はなし。 ②特別な事項なし。
 - ③新年度契約の時期を迎え、2017年度と同様な委託契約の締結に向けた準備をすすめる。
 - ④能力活用推進事業では、「放置自転車の保管整理」の業務が新年度より無くなることが決まった。
- ◆ **ITセンター**
 1. 業務遂行 12月生…2/27修了。ほとんどの方の就職先が決定していない。今後の就職支援費は見込めない。8月生…就職率が悪く就職支援対象にならなかった。名古屋技術専門学校へ就職に至らなかった原因等を報告。2月生…入校したが、平均年齢(40代後半)が高く、訓練の進捗に不安が残る。他分野への転職を希望しているので、就労を危惧している。
 2. 予算遂行 訓練生の質が低下し、訓練修了後3か月以内で就職できないため、労支援費がもらえない。平成30年4月~9月までの入札が決定した。訓練開講が決定。この訓練は、現在の社会状況がかなり影響される。訓練生が集まらず、希望人数を確保できていない。(20名予定が18名開始)となり、当初予算通りに行かない。
 3. その他 職業訓練 入札結果発表の結果、6か月間の仕事の確保は行なえた。他の競争相手も侮れないため、秋での入札が不安であるが、詳細な分析調査と入札価格と点数予測を行なうしかない。年数回の入札時期は仕事が取れない恐怖で眠れないときが多く、やはり体には良くない。